

まよゆうから利用開始



テープカットをする読谷山市長(右から5人目)ら関係者(30日、かわまちバーベキュー広場)



完成式後、バーベキューを試食する関係者

式典には読谷山洋司市長や国交省延岡河川国道事務所の田浦峰星所長、地区住民ら約30人が出席。読谷山市長は「バーベキュー広場は地産地消の場として、延岡の農林水産業の振興に大きく貢献する場としてもぜひ、その役割を果たさせていきたい」とあいさつした。

来賓の田浦所長は「今後、かわまちバーベキュー広場と、かわまち交流館を一体として活用いただき、延岡のさらなる観光振興を図っていただき

延岡市が同市大貫町の大瀬大橋上流側左岸に整備していた「かわまちバーベキュー広場」がまよゆうオープンした。完成式が30日、同広場で行われ、関係者らが完成を祝った。

かしまちバーベキュー広場 観光振興、地産地消に期待

延岡市

たい、市議会の松田和己議長は「バーベキュー広場の完成は、アウトドアファンにとっても、食のファンにとってもたまらない魅力」と祝辞を述べた。

この後、読谷山市長や田浦所長、松田議長、延岡観光協会の谷平興二代

表理事らによるテープカットがあり、式典後はバーベキューの試食会が行われた。

同広場は、食の拠点施設「かわまち交流館」を中心とした「かわまち広場」の敷地内。市が食を生かしたまちづくりをより一体的に進めるため、整備を進めていた。敷地約1万平方メートル。指定管理者は延岡観光協会。

区画サイトとフリーサイトがあり、区画サイトは1区画100平方メートル、20区画設けている。フリーサイトは6200

平方メートルの緑地内で自由に場所を選び、おおむね100平方メートルの広さでバーベキューができる。

利用料金は区画サイト1区画、フリーサイト100平方メートルに500円。予約受け付けは利用日の2カ月前から受け付けている。営業時間は4月10日が午前9時～午後7時、11～3月が午前9時～午後6時まで。12月31日と1月1日は利用できない。

バーベキュー用具は予約をすれば有料で貸し出す(先着順)。食材、ケータリングサービス事業者の紹介も行っている。予約、問い合わせは、かわまち交流館(☎延岡20・5010)まで。

ばんば太鼓講習始まる

延岡

2/7 打ち手に69人、コンクールへ熱気

延岡市民に長く愛され受け継がれている盆踊り「ばんば踊り」に欠かさない「ばんば太鼓」の講習会が6月29日、同市伊形町の伊形小学校体育館で始まった。小学3年生から70歳代まで、初心者を含む打ち手69人が参加。今年で39回目。2年前から延岡観光協会の協力を得て、ばんば太鼓の「名手」でつくる同太鼓講習会実行委員会（小田忠良実行委員長）が主催している。

真剣な表情でばちを握った。小学3年生のときから毎年参加しているという伊形小6年の甲斐夏華さんは「ばんば太鼓は子どもから大人まで、みんなで仲良く教え合っているところが楽しい。真ん中をたたくときと縁をたたくときのテンポがずれることがあるので、コンクールまでにそこを直したい」と話した。

初日は名手7人が指導。初心者はばちの持ち方やリズムなどの基本を、経験者はばちさばきやステップなどを繰り返し練習した。梅雨とあって体育館内はじめじめと湿度が高く、参加者は汗をにじませながら約1時間、打ち手の育成を目的として5日間で7日間行われる。

しい、同観光協会の古木聖三事務局長（68）が若い世代に広がってほしいと話した。は「ばんば太鼓の文化」と話した。



打ち手69人が参加した「ばんば太鼓」の講習会。5日間で7日間行われる。